



兵庫県立三木北高等学校 1 学期終業式式辞
「この勉強は何の役に立つのか」は愚問

2019.7.19

生徒のみなさんの中には、自分の進路に関係のない科目はやりたくないと思う人がいるかもしれません。また、この勉強は何の役に立つのかと疑問に思って、役に立つものしか勉強したくないと思う人がいるかもしれません。けれども、それは間違っています。

「学び」というのは、例えば運転免許を取るために自動車教習所に行くような、簡単な技術や知識の習得ではありません。英会話教室に通って、日常会話ができるようになる、英語の契約書が読める、これもまだ「学び」ではありません。英語を通して英語圏の人々の考え方、感じ方、風俗、習慣、文化、思想などを深く知って考えること、日本との違いを深く考えること、そこまで行くのが「学び」です。

ですから「学び」には時間がかかります。そして、学んでみて初めて自分が何を学んだかがわかるのです。

「学び」はあなたを成長させます。学ぶ前とは違う自分になっています。学ぶ前にはどのように成長するか、何が得られるかはわからない。学んだ後で、自分が何を学んだかがわかる。それが本当の「学び」です。

ですから、学ぶ前に、これは自分に必要だとか必要ないとか選んでいると、自分が成長する機会を逃すことになります。何の役に立つかがすぐにわかるものは、学問ではありません。学んでみるまで何を得られるかはわからないのです。

ですから、簡単にこの勉強は必要、これはいらぬなどと言ってはいけない。謙虚にひたむきに学び、成長しなければなりません。

高校の授業で行われているのは「学び」です。自分のためにあらゆる教科を勉強し、いろいろな体験活動にも積極的に参加しましょう。夏休み40日かけて一生懸命やれば、人は大きく成長できます。

みなさん自身が実り多い夏休みにしてくれることを期待しています。

兵庫県立三木北高等学校長 吉田尚美